米沢興譲館同窓会会報

第30号
発行／平成13年8月5日
米沢興譲館同窓会
会報　編集委員会
当会報の題字は、第19号から奥山徹石氏（昭和28年卒）の揮毫によるものです。

興譲館同窓生の誇りと共に

平成十三年度同窓会・懇親会
実行委員長　相田治孝
（昭和四十一年卒）

私は年一回は上京して、業務の研修を受講するが、二年前の講師は東京高裁の判事を退官された法学者であった。その先生は講義の中で三十分以上の時間をさいて「私の法学者としての人生の中で忘れられない師に我妻栄先生がおられる。先生は法制審議会の民法部会長のとき、委員の方々を君づけでよんでおられた。先生に何か仕事を与えてもらうことは天にも昇る程の喜びで、私もその喜びにひたることがあった。君でもよばれたひとはそれだけで喜びを感じる程の偉い先生だった。」と話された。その時私は後輩として誇らしげに感じたことを思い出す。

さて上杉入部四百年、鷹山公生誕二百五十年という記念すべき年の同窓会総会、懇親会の実行委員を仰せ付かりました。昭和四十一年、四十五年、五十年、五十六年、六十一年卒業生と共に実行委員会を中心として準備をして参りました。

「新世紀、鷹山公に学ぶ、興譲改革」をスローガンとして、新世紀への対応を検討しての大懇親会を予定しております。

誇り得る諸先輩を囲んで、新世紀更に飛躍する第一歩としての意義深い懇親会として、皆様に盛り上げていただきたく、心よりお願い申し上げましてごあいさつと致します。

二十一世紀 同窓生と母校がさらに 力強い相互関係を

同窓会長　川野　希

二十一世紀を迎え、政治の世界にも新風が吹いておりますが、皆様には益々ご壮健でご活躍のことと存じます。

今年は、上杉鷹山生誕二百五十年、上杉氏米沢入部四百年という記念すべき年であり、博物館、能舞台設置のホール建設など、米沢にも新しい文化の香りが感じられるこの頃です。

母校でも、皆様の絶大なご協力により、昨年九月にみごとな講堂が完成しました。そのこけら落しには、滝沢美恵子先生を中心としたOB・OGの方々によるすばらしい音楽会を催し、まさに興譲館にふさわしいイベントとして多大な感銘を与えていただきました。

その後も、新講堂は在学生諸君に様々な面で大いに活用していただき、苦労はあったものの、本当に建ててよかったと感じております。

しかし、ご存知のとおり多額の借金が残っております。その返済に向けて、実行委員会は一応解散したものの、事務局と新しい資金部を再編して、現在鋭意取り組んでおります。年次目標未達成の学年は、ぜひ募金活動にご協力いただくよう、重ねてお願いします。

また、今年は五年に一度の会員名簿改訂の年になっており、その発刊に向けて現在準備中です。お問い合せその他、若干の手違いがあったりしてご迷惑をおかけしたこともあったようですが、意のあるところをお汲み取りいただき、名簿の編集、ご購入についてもよろしくご協力ください。

さて、九月十九日恒例の総会、大懇親会についても、当番学年の諸君ががんばって準備しておりますので、皆様のお力添えを賜って成功させたいものです。

各支部も、役員の改選があったりして、更に充実した活動がなされております。各学年の活動と合せて今後益々発展されますよう、心からお祈り申しあげます。

米沢興譲館同窓会

平成十三年度総会・大懇親会ご案内

一　日　時　平成十三年　九月十九日（水曜日）

一　会　場　グランドホクヨウ（市内金池二丁目）

一　日　程　①総　会　午後四時三十分

②懇親会　午後六時から

平成十三年度米沢興譲館同窓会会長　川野　希

平成十三年度同窓会・懇親会実行委員長　相田治孝

（昭四十一年卒）

米沢興譲館高等学校

記念式典・記念講演ご案内

一　日　時　平成十三年　九月十九日（水曜日）

一　会　場　米沢興譲館高校　記念講堂

一　日　程　①記念式典　午前九時から

②記念講演　午前十時四十分から

講　師　椿　淳一郎氏

（名古屋大学大学院教授）

（昭四十一年卒）

「一四」対「五」対「一」

学校長　巻　久

この数字は、七月十日、十一日に行われたクラスマッチの成績を学年比で表したものです。即ち、バレー（男女）、サッカー（男女）、長縄飛び（学級対抗）の五種目で各学年がどの程度ベスト四に入ったか、その数を順に示しております。

予想したこととはいえ、上級生が圧倒的な強さを発揮したことにひとまず安堵するとともに、体力的な面だけではなく、学力、精神力、物事を処理する力が着実に向上している様子をまざまざと見せつけられた思いです。それだけに高校生活の意義の大きさを改めて痛感しております。

何より、恵まれた施設・設備をフルに活用し、勉学や部活動に精一杯躍動してほしいと願っております。この時期、三年生は本格的な受験勉強に入ります。国公立大学を中心として、進学実績の飛躍を期しております。また、一・二年生にあっては多くが合宿を経験することになります。

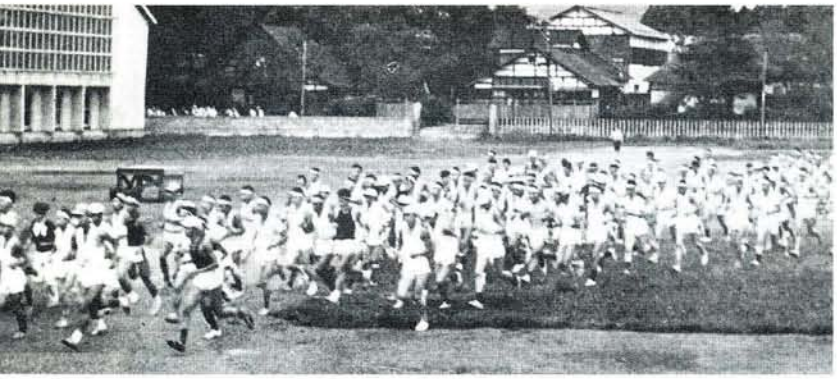
七月二十二日には、上杉スタジアムで行われる野球大会二回戦に全校応援態勢で臨む予定であります。今シーズンは春の大会で八年ぶりにベスト四に入り、夏の大会ではシード校として、山形南、東根工の勝者と初戦で戦うことになっております。鷹山公生誕二五〇年の記念の年に、花を添えられればと期待しております。

「服装の指導」や「あいさつ運動」など、心の教育の重要性が全国的な課題となっている今、本校とて例外ではありません。やるべき課題は尽きません。

「二十一世紀を担う有為な人材を育成する」という目標を高らかに揚げて歩みたいと存じます。

同窓会の皆様方には、今後とも力強いご支援を賜りますようお願い申し上げます。近況をご報告してあいさつといたします。

（平成十三年七月十二日）



秋の白布街道　興譲館OBマラソン実施要項

◎趣　旨　秋の白布街道をかつて汗して走った思い出に浸りながら浩然の気を養い、旧交を温め同窓の意識を高めあう。

◎主　催　米沢興譲館高等学校　同窓会・体育文化後援会

主　管　体育文化後援会

―要　項―

・期　日　平成13年9月15日（土）

開会行事　9時30分から9時40分

興譲館跡・現ふれあいセンター

スタート　9時50分から10時40分（各自・各チーム時間差）

ゴール　（高橋）12時から12時30分

閉会行事　（兼　懇親会）　白布温泉西屋　14時から

・コース　スタート興譲館跡（現ふれあいセンター）→ゴール・高橋　16km

・走る方法

1．個人で全コース　駅伝形式…一人で走る距離・回数、中継点等はそのチームで自由。

2．2～3人のチームで

3．4人以上のチームで　例えば…1台か2台の車でチームを組み運転と走者を交代しながらゴールへつなぐ。

・スタートとゴール

高橋のゴール時刻を「12時～12時30分」とし、これにあわせスタートは、個人・チームの走力により、9時50分～10時40分の時間差スタートとする。

ちなみに速さを2kmを12分（ゆっくりジョギング）～16分（歩くよりやや早足）

・申　込

〒九九二―〇〇四七　米沢市徳町二二九―一八　土澤　幸雄　宛

TEL　〇二三八（二二）六九三四

期限　平成13年8月31日

・参加料　無し。但し、直会参加は1人一、〇〇〇円。

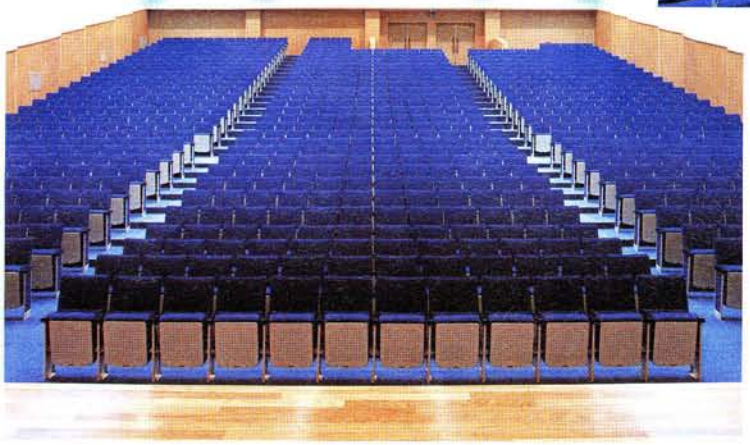
・その他　全員（走者・運転等）に参加記念品あります。

みなさんのご協力のおかげで

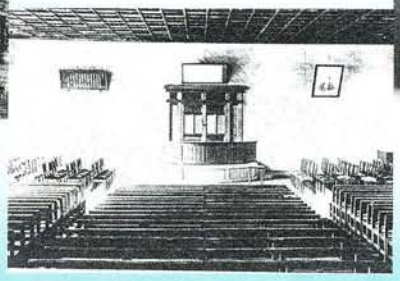
念願の新講堂完成！

建設の概要

・延面積	1,614㎡	・1,000席の固定客席
講堂・ステージ	930㎡	・体育館と渡り廊下で連絡
同窓会室	48㎡	・建設費　約3億5千万円
史料展示室	87㎡	・工　期　平成12年春に着工



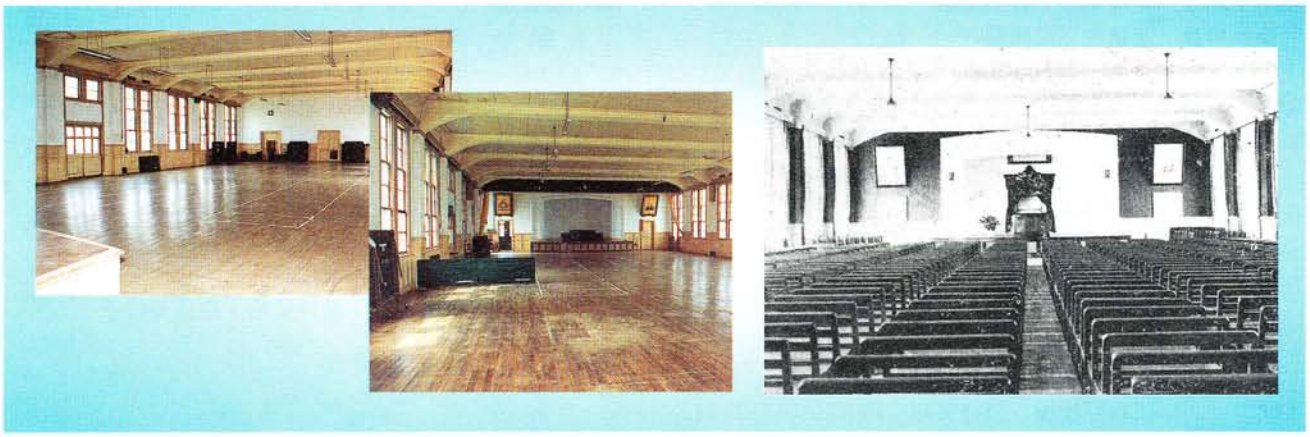
興譲館講堂の移り変わり



興譲館
未決
既決

定礎

記念講堂



平成11年度　同窓会決算書

（平成11年9月1日から平成12年8月31日まで）

収　入

（単位：円）

項　目	予算額	収入済額	増減(△)	備　考
繰越金	541,703	541,703	0	
入会金	1,568,000	1,568,000	0	7,000円×224名
年会費	2,250,000	1,687,000	△563,000	
過年度会費	500,000	225,000	△275,000	過年度会費未納分
雑収入	297	786	489	預金利子
計	4,860,000	4,022,489	△837,511	

決算額

収入済額 4,022,489円－支出済額 3,385,522円

＝残額 636,967円

（次年度繰り越し）

支　出

（単位：円）

項　目	予算額	支出済額	残　高	備　考
(運営費)	(1,420,000)	(1,233,416)	(186,584)	
会議費	120,000	108,265	11,735	会議費補助
通信連絡費	100,000	38,240	61,760	通信費
需用費	200,000	86,911	113,089	事務経費・他
人件費	1,000,000	1,000,000	0	人件費等
(事業費)	(2,610,000)	(1,950,106)	(659,894)	
一般事業費	2,000,000	1,389,906	610,094	各支部総会(旅費・お祝)・会報送料
卒業記念費	250,000	235,200	14,800	認め印
表彰費	10,000	10,000	0	記念品代(1名)
会報費	350,000	315,000	35,000	第29号 10,000部
(予備費)	(830,000)	(202,000)	(628,000)	
予備費	830,000	202,000	628,000	過納会費引き当て金
計	4,860,000	3,385,522	1,474,478	

参　考	年会費預かり状況（単位：千円）											
年　度	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21		計
金　額	469	235	176	103	58	46	24	13	7	4		1135

◎高畠支部

支部長　登坂捷一
〒992-0351　東置賜郡高畠町高畠2152-23
☎0238 (52) 0017
副支部長　梅津伊兵衛・星　寛治
幹事長　鈴木征治
事務局長　連絡先　金田成康　高畠町役場内
☎0238 (52) 1111

◎赤湯支部

支部長　須藤清次　〒999-2211　南陽市赤湯3005
☎0238 (43) 6111
副支部長　伊藤幸太・吉田堅治
事務局長　連絡先　高橋順一
〒999-2231　南陽市二色根76-1

◎宮内支部

連絡先　〒992-0472　南陽市宮内3010-10
吉田文雄　☎0238 (47) 2706
支部長　佐藤　稔
副支部長　川合悌次郎・星　清一
幹事長　吉田文雄
監事　高橋正夫

◎川西支部

連絡先　〒992-0121　東置賜郡川西町上小松
川西町役場　猪狩文昭　☎0238(42)2111
支部長　遠藤忠志
〒992-0213　東置賜郡川西町尾長島1211
☎0238 (42) 4121
副支部長　鈴木　弘
監事　船山昭司・嶋津憲英
幹事長　猪狩文昭
事務局長　島貫啓一・後藤哲雄・大友勝治

◎長井西置賜支部

支部長　松下鉛三郎
副支部長　井上俊雄・芳賀康雄
監事　安部義彦

◎小国支部

支部長　高井朋次
〒992-1203　西置賜郡小国町市野々389
☎0238 (65) 2006
副支部長　阿部　正・木村信夫
幹事長　渡部君夫

◇興譲館同窓会校内役員

理事　近野邦雄・武田蹤一・佐藤広明
加地信彦・堀江昭浩
幹事　石黒宏治・菊地敏昭・佐藤美枝子

平成12年度　同窓会予算書(案)

（平成12年9月1日から平成13年8月31日まで）

収　入

（単位：円）

項　目	本年度予算額	前年度予算額	比較増減(△)	備　考
繰越金	636,967	541,703	95,264	前年度繰越金
入会金	1,687,000	1,568,000	119,000	241名×7,000円
年会費	2,300,000	2,250,000	50,000	昭27年～平3年まで50,000円×40学年 昭26年～昭16年まで30,000円×10学年
過年度会費	500,000	500,000	0	過年度会費未納金
雑収入	33	297	△　264	預金利子
計	5,124,000	4,860,000	264,000	

支　出

（単位：円）

項　目	本年度予算額	前年度予算額	比較増減(△)	備　考
(運営費)	(1,556,000)	(1,420,000)	(136,000)	
会議費	120,000	120,000	0	会議費補助
通信連絡費	100,000	100,000	0	通信費
需用費	336,000	200,000	136,000	慶弔・転退職者餞別・事務経費
人件費	1,000,000	1,000,000	0	人件費等
(事業費)	(2,738,000)	(2,610,000)	(128,000)	
一般事業費	2,108,000	2,000,000	108,000	各支部総会(お祝い・旅費)、会報送料
卒業記念費	250,000	250,000	0	記念品代
表彰費	30,000	10,000	20,000	永年勤続者(3名)
会報費	350,000	350,000	0	印刷代
(予備費)	(830,000)	(830,000)	(　0)	
予備費	830,000	830,000	0	過納会費返済のため
計	5,124,000	4,860,000	264,000	

米沢興譲館同窓会支部役員

◎米沢支部　連絡先　〒992-1443　米沢市大字笹野1101
米沢興譲館高等学校　☎0238 (38) 4741
支部長　高橋忠蔵
副支部長　相田英一・大友恒則
監事　安達治雄
幹事長　小関　薫
事務局長　遠藤岩根

◎東京支部
支部長　磯貝昌弘
副支部長　後藤主計・月生田健
幹事長　吉田仁志
副幹事長　板垣昭次・五雲寺卓・川井陽一
本川　裕・大浦顕逸
連絡先　〒120-0002　東京都足立区中川4-8-11-101
㈱ハナマル（吉田仁志）
☎03 (3606) 6101 (FAX共)

◎関西支部
支部長　遠藤昌雄
副支部長　山本三郎・大石　彰・川合雄介
幹事長　大槻正重
事務局　連絡先　勝見哲朗
〒537-0011　大阪市東成区東今里2-15-30
サン美術印刷㈱　☎06 (976) 0231

◎宮城支部
支部長　中條　仁
副支部長　芳賀滋弥・和田美和子
幹事　林一郎・小林令児・矢尾板範子・香坂昌紀
大武清夫・小関隆久・金子謙一・猪俣良市
御供政敏・森下和夫・高橋芳彦・鈴木利実
連絡先　〒983-0862　仙台市宮城野区二十人町6
☎022 (291) 5372 (中條　仁)

◎山形支部
支部長　板垣義次
副支部長　堤　孝雄・後藤　寛
幹事　二瓶　功・花輪完治
監事　岩沼　甫・安部　敏

◎県庁教育委員会職員同窓会
会長　佐々木洋治
副会長　山村　勝・高橋　潔
幹事長　斎藤忠男
幹事長代理　鈴木敬次

◎置賜地区県職員同窓会
連絡先　〒992-0012　米沢市金池東南置賜合同庁舎
☎0238 (24) 2311
支部長
幹事長　大海康一

母校だより

心の教育は講堂から

武田　蹤一（母校教諭）

昨年九月、同窓会会員の皆様の絶大なるご支援により、藩学創設三〇〇年記念講堂が完成いたしました。心からお礼申し上げます。

完成後、平成十二年度卒業式、平成十三年度入学式等が荘厳のうち挙行され、参列者一同感動・感激のなかで式を挙行することが出来ました。これ偏に、同窓会会員皆様のお陰と感謝申し上げます。

さて、興譲館は、いつの時代も、地域や保護者の期待を一身に担い、その伝統を維持発展させていただいて参りましたが、特に、記念講堂には、興譲館精神を育む殿堂として、大きな期待が寄せられております。

梅雨が明けると夏本番です。夏の甲子園予選の開幕です。

興譲館高校の部活動不振が言われる中にあって、今年の野球部は、春の大会で県立高校唯一のベスト4に残りました。前評判では、決してここまで勝ち進むとは予想できませんでした。「個人個人の力は、高いとはいえない。しかし、団結力の勝利である」とは、若い吉田監督の言葉です。生徒に聞かせたい言葉です。

とかく興譲館は勉強ばっかりのイメージがありますが、部活動の活躍があっての興譲館でありたいものです。

いま、世間では暗い事件が多く、若者が批判の槍玉に挙がっています。

興譲館生といえども時代の波を受け、流行に流される生徒も見受けられます。

先日、ある席で、前同窓会長の松野先生が言われた、「他の高校の生徒がどうあろうとも、興譲館は、興譲館であってほしい。」との言葉は、同窓会会員皆様の強い願いであることを肝に銘じ、生徒の指導にあたって参りたいと思います。

事務局だより

●会報二十七号に、母校の菅弘先生が『講堂建設によせて』という題で「講堂は先輩の歩んだ道をたどる殿堂であり、文化活動推進の場であり、今の生徒に最も必要と思われる心の暗闇に気づかせる静寂と瞑想の場でありたい。・・・私の精神の原点は、興譲館の講堂にある、といわしめるような教育活動の場でありたいと願っている」と書かれている。

表紙の写真は、その講堂が完成し、在校生全員と卒業生が集った記念講堂竣工式の模様である。当日は、かつて母校で音楽を担当なされた滝沢美恵子先生と先生の門下生による男性合唱、さらに加えて、在校生の音楽部と合唱に心を寄せるOG合唱団が、見事なハーモニーを披露されたことも特筆すべき事か。菅先生も期待されたように講堂は、大きな役割を果たしていると聞く。それにしても、会長挨拶にもあるように、借金が残っているのも事実。募金目標額未達成の学年の皆様の、もう一歩のご協力よろしくお願いします。

●今年は同窓会会員名簿発行の年です。今回あらかじめ注文制としたのですが、申込状況がまだ発行部数の三分の一です。購入を希望なさる方は事務局までお申し込み下さい。

●皆さんの学年は、同窓会年会費を納入済みですか。平成十一年度の決算書をみると、年会費の納入状況がよくありません。同窓会の活動を支えるのは、我々の会費であることをご理解下さいましてご協力のほどお願いいたします。

（文責　遠藤）